



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月14日

上場会社名 パシフィックシステム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3847 URL <https://www.pacific-systems.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 泰博  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 土谷 稔 (TEL) 048-845-2200  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月21日 配当支払開始予定日 2024年6月24日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月24日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	10,925	13.7	852	48.6	866	48.4	580	72.6
2023年3月期	9,605	△9.8	573	△24.9	583	△24.3	336	△35.5
(注) 包括利益	2024年3月期		709百万円(136.2%)		2023年3月期		300百万円(△40.3%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	392.04	—	9.8	9.9	7.8
2023年3月期	227.19	—	6.0	6.9	6.0
(参考) 持分法投資損益	2024年3月期	—百万円	2023年3月期	—百万円	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	9,244	6,185	66.9	4,180.22
2023年3月期	8,235	5,672	68.9	3,833.81
(参考) 自己資本	2024年3月期	6,185百万円	2023年3月期	5,672百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	1,304	△157	△371	2,743
2023年3月期	487	△327	△396	1,967

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	65.00	—	67.00	132.00	195	58.1	3.5
2024年3月期	—	66.00	—	68.00	134.00	198	34.2	3.3
2025年3月期(予想)	—	67.00	—	67.00	134.00		42.0	

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	10,448	△4.4	674	△20.9	686	△20.7	472	△18.5	319.34

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

新規 -社、除外 -社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期	1,480,000株	2023年3月期	1,480,000株
2024年3月期	386株	2023年3月期	386株
2024年3月期	1,479,614株	2023年3月期	1,479,630株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実勢の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたって注意事項等については添付資料2ページ「経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(連結貸借対照表関係) .....	12
(連結損益計算書関係) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2023年4月1日～2024年3月31日）におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、景気の緩やかな回復基調がみられました。その一方で、地政学リスクに伴うエネルギー・原材料価格の上昇に加え、世界的な金融引締めに伴う為替市場への影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、そのような環境の中でも、各企業におけるDX推進の流れは継続し、AI・IoT技術などのICT（情報通信技術）の役割は従来以上に重要性を増し、情報化投資意欲の高まりは継続していくものと考えられます。

このような状況のもと、当社グループは23中期経営計画（2021年度～2023年度）に基づき、主要事業の推進に取り組みました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、前連結会計年度に比べ全てのセグメントで増加となり、10,925百万円（前期比13.7%増）となりました。損益につきましては売上高の増加に加え、不採算案件が抑制され利益率が改善したことにより、営業利益は852百万円（同48.6%増）、経常利益は866百万円（同48.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は580百万円（同72.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

（単位：百万円）

		前連結会計年度 (自2022年4月1日 至2023年3月31日)	当連結会計年度 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)	前年同期比	
				増減	増減率
機器等販売	売上高	1,591	2,277	685	43.1%
	セグメント利益	111	193	81	73.6%
	セグメント利益率	7.0%	8.5%	1.5P	—
ソフトウェア開発	売上高	1,486	1,497	10	0.7%
	セグメント利益	167	335	168	100.5%
	セグメント利益率	11.3%	22.4%	11.2P	—
システム販売	売上高	2,982	3,477	494	16.6%
	セグメント利益	313	529	216	69.1%
	セグメント利益率	10.5%	15.2%	4.7P	—
システム運用・管理等	売上高	3,603	3,728	124	3.5%
	セグメント利益	1,164	1,101	△63	△5.4%
	セグメント利益率	32.3%	29.5%	△2.8P	—
調整額（注）1	売上高	△58	△55	3	—
	セグメント利益	△1,183	△1,308	△124	—
計（注）2	売上高	9,605	10,925	1,320	13.7%
	営業利益	573	852	278	48.6%
	営業利益率	6.0%	7.8%	1.8P	—

（注）1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## ①機器等販売

当セグメントは、パソコン、サーバー及び周辺機器とパッケージソフトウェア等の仕入・販売を行っております。

売上高は顧客へのパソコン、サーバー等の機器や文教市場向けの教育用機器の販売が好調であったことから増加し、2,277百万円（前期比43.1%増）となりました。セグメント利益は売上高の増加により193百万円の利益（同73.6%増）となりました。

## ②ソフトウェア開発

当セグメントは、製造業・流通業・金融業等幅広くアプリケーションシステムの受託開発業務を行っております。また、主に製造業向けにERPビジネスのコンサルとシステム開発を行っております。

売上高は前期から継続している大型プロジェクトが終盤となり縮小したものの、新規の基幹システム再構築等の受注があり、1,497百万円（前期比0.7%増）となりました。セグメント利益は不採算案件が抑制され利益率が改善したことから、335百万円の利益（同100.5%増）となりました。

## ③システム販売

当セグメントは、画像処理システムや生コンクリート業界向けシステムの自社開発システム商品等の販売及びネットワーク構築のインフラサービス等を行っております。

売上高は公共のインフラサービスを受注したこと、また医療システムの大規模案件や製造業向けパッケージ販売等が増加し、3,477百万円（前期比16.6%増）となりました。セグメント利益は売上高の増加に加え、不採算案件が抑制され利益率が改善したことから、529百万円の利益（同69.1%増）となりました。

## ④システム運用・管理等

当セグメントは、ユーザシステムの運用・管理サービス、データセンター、保守サービス等を行っております。

売上高は保守関連やデータセンター業務が増加したこと、また製造業向けのシステム運用保守が増加したこと等により、3,728百万円（前期比3.5%増）となりました。セグメント利益は一部の保守において作業が増加した影響により、1,101百万円の利益（同5.4%減）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間よりセグメント別の経営成績に記載の各セグメントの売上高については、外部顧客への売上高にセグメント間の内部売上高又は振替高を加えた金額を記載しております。

## (2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産は、次のとおりです。

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当連結会計年度末 (2024年3月31日)	前年度末比	
			増減額	増減率
流動資産	5,350	6,504	1,153	21.6%
固定資産	2,884	2,739	△145	△5.0%
資産合計	8,235	9,244	1,008	12.2%
流動負債	2,153	2,779	626	29.1%
固定負債	409	279	△130	△31.7%
負債合計	2,562	3,059	496	19.4%
純資産	5,672	6,185	512	9.0%

当連結会計年度末の資産合計は9,244百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,008百万円増加となりました。流動資産増加の主な要因は現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産が増加したことによります。固定資産減少の主な要因はリース資産などの有形固定資産が減少したことによります。

負債合計は3,059百万円となり、前連結会計年度末に比べ496百万円増加となりました。流動負債増加の主な要因は未払法人税等及び賞与引当金が増加したことによります。固定負債減少の主な要因はリース債務などの固定負債その他が減少したことによります。

純資産は6,185百万円となり、前連結会計年度末に比べ512百万円増加となりました。これは主に、株主配当金の支払があったものの、親会社株主に帰属する当期純利益を計上したことによります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	前年同期比	
			増減額	増減率
営業活動によるキャッシュ・フロー	487	1,304	817	167.7%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△327	△157	169	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△396	△371	25	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△236	776	1,012	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,967	2,743	776	39.5%

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下資金という）は、前連結会計年度末に比べ776百万円増加し、当連結会計年度末には2,743百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動による資金の増加は1,304百万円（前連結会計年度は487百万円の資金増加）となりました。これは主に、減少要因で売上債権の増加があったものの、増加要因で税金等調整前当期純利益及び減価償却費があったことによります。

投資活動による資金の減少は157百万円（前連結会計年度は327百万円の資金減少）となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出があったことによります。

財務活動による資金の減少は371百万円（前連結会計年度は396百万円の資金減少）となりました。これは主に、配当金の支払額、リース債務の返済による支出があったことによります。

### (4) 今後の見通し

今後の国内経済は、引き続き緩やかな回復傾向にあるものの、地政学リスクや金融資本市場の変動に加え、長引く物価上昇や人手不足の影響等、依然として不透明な状況が継続すると思われまます。そのような中でも、各企業におけるDX推進の流れは継続し、AI・IoT技術などのICT（情報通信技術）の役割は従来以上に重要性を増し、情報化投資意欲の高まりは継続していくものと考えられます。また日進月歩で新たな技術やサービスが生まれており、その変化へ臨機応変に対応していくことが重要になってきます。

このような事業環境のもと、当社グループの次期（2025年3月期）につきましては、既存技術の展開、新規技術の獲得等の研究開発活動を推進し長期的な発展継続を目指します。

なお次期の業績予想につきましては、売上高は当連結会計年度と比べ、4.4%減の10,448百万円、営業利益は同20.9%減の674百万円、経常利益は同20.7%減の686百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同18.5%減の472百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、事業活動が国内に限定されており、企業間の比較可能性等を考慮し、日本基準を適用しております。なお、国際会計基準（I F R S）適用につきましては、国内他社における会計基準の採用状況等を勘案しながら、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,967,209	2,743,512
受取手形、売掛金及び契約資産	2,394,001	2,762,023
電子記録債権	59,664	114,309
リース投資資産	434,115	400,331
商品及び製品	51,580	52,668
仕掛品	228,365	259,757
原材料及び貯蔵品	49,454	48,671
その他	167,128	124,011
貸倒引当金	△852	△805
流動資産合計	5,350,667	6,504,481
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,607,567	1,608,467
減価償却累計額	△938,040	△992,573
建物及び構築物(純額)	669,526	615,894
工具、器具及び備品	661,518	696,574
減価償却累計額	△548,514	△581,604
工具、器具及び備品(純額)	113,003	114,969
土地	531,977	531,977
リース資産	966,302	920,082
減価償却累計額	△702,224	△747,440
リース資産(純額)	264,078	172,641
その他	611,994	634,479
減価償却累計額	△220,790	△318,121
その他(純額)	391,203	316,357
有形固定資産合計	1,969,790	1,751,840
無形固定資産		
ソフトウェア	107,981	132,739
リース資産	93,795	57,724
その他	146,598	54,719
無形固定資産合計	348,375	245,183
投資その他の資産		
投資有価証券	224,719	287,905
退職給付に係る資産	129,168	249,221
繰延税金資産	166,096	150,084
その他	47,110	55,722
貸倒引当金	△391	△165
投資その他の資産合計	566,703	742,767
固定資産合計	2,884,869	2,739,792
資産合計	8,235,537	9,244,273



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	848,098	983,091
リース債務	163,690	124,068
未払費用	258,053	284,002
未払法人税等	27,846	269,910
賞与引当金	353,123	515,044
受注損失引当金	36,307	20,508
アフターコスト引当金	47,508	27,030
その他	418,723	555,893
流動負債合計	2,153,351	2,779,551
固定負債		
リース債務	168,465	89,728
その他	241,158	189,879
固定負債合計	409,624	279,608
負債合計	2,562,976	3,059,159
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	777,875	777,875
資本剰余金	239,946	239,946
利益剰余金	4,639,202	5,022,482
自己株式	△802	△802
株主資本合計	5,656,222	6,039,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	109,342	154,594
退職給付に係る調整累計額	△93,004	△8,982
その他の包括利益累計額合計	16,338	145,612
純資産合計	5,672,560	6,185,114
負債純資産合計	8,235,537	9,244,273

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	9,605,193	10,925,327
売上原価	7,137,950	8,057,187
売上総利益	2,467,243	2,868,139
販売費及び一般管理費	1,894,052	2,016,133
営業利益	573,190	852,005
営業外収益		
受取利息	29	30
受取配当金	4,901	5,233
受取手数料	1,811	1,742
受取保険料	1,744	1,370
補助金収入	5,456	6,566
その他	2,881	3,055
営業外収益合計	16,825	18,000
営業外費用		
支払利息	3,848	2,253
支払手数料	795	806
その他	1,376	579
営業外費用合計	6,020	3,639
経常利益	583,995	866,367
特別損失		
固定資産除却損	41	216
訴訟関連損失	79,400	-
特別損失合計	79,441	216
税金等調整前当期純利益	504,553	866,150
法人税、住民税及び事業税	145,048	324,807
法人税等調整額	23,348	△38,725
法人税等合計	168,397	286,082
当期純利益	336,156	580,068
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	336,156	580,068

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	336,156	580,068
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,117	45,252
退職給付に係る調整額	△31,718	84,022
その他の包括利益合計	△35,835	129,274
包括利益	300,320	709,342
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	300,320	709,342
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	777,875	239,946	4,499,097	△737	5,516,181	113,460	△61,286	52,174	5,568,356
当期変動額									
剰余金の配当			△196,051		△196,051				△196,051
親会社株主に帰属する 当期純利益			336,156		336,156				336,156
自己株式の取得				△64	△64				△64
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						△4,117	△31,718	△35,835	△35,835
当期変動額合計	-	-	140,105	△64	140,040	△4,117	△31,718	△35,835	104,204
当期末残高	777,875	239,946	4,639,202	△802	5,656,222	109,342	△93,004	16,338	5,672,560

当連結会計年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	777,875	239,946	4,639,202	△802	5,656,222	109,342	△93,004	16,338	5,672,560
当期変動額									
剰余金の配当			△196,788		△196,788				△196,788
親会社株主に帰属する 当期純利益			580,068		580,068				580,068
自己株式の取得					-				-
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						45,252	84,022	129,274	129,274
当期変動額合計	-	-	383,279	-	383,279	45,252	84,022	129,274	512,553
当期末残高	777,875	239,946	5,022,482	△802	6,039,501	154,594	△8,982	145,612	6,185,114

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	504,553	866,150
減価償却費	497,919	496,387
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△114,815	161,921
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△6,474	△15,798
アフターコスト引当金の増減額 (△は減少)	2,722	△20,477
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	4,522	773
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,128	△272
受取利息及び受取配当金	△4,931	△5,264
支払利息	3,848	2,253
訴訟関連損失	79,400	-
固定資産除却損	41	216
売上債権の増減額 (△は増加)	92,851	△422,666
棚卸資産の増減額 (△は増加)	14,340	△31,697
リース投資資産の増減額 (△は増加)	4,839	33,784
その他の資産の増減額 (△は増加)	△1,384	△7,848
仕入債務の増減額 (△は減少)	93,899	191,352
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△215,015	127,510
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△18,895	18,895
その他の負債の増減額 (△は減少)	△9,706	△32,225
小計	922,588	1,362,993
利息及び配当金の受取額	4,931	5,264
利息の支払額	△3,848	△2,253
訴訟関連損失の支払額	△79,400	-
法人税等の支払額	△357,807	△84,671
法人税等の還付額	973	23,440
営業活動によるキャッシュ・フロー	487,437	1,304,773
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△205,625	△135,862
無形固定資産の取得による支出	△121,143	△21,523
敷金及び保証金の差入による支出	△462	△393
敷金及び保証金の回収による収入	88	466
投資活動によるキャッシュ・フロー	△327,142	△157,312
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△64	-
リース債務の返済による支出	△200,660	△174,369
配当金の支払額	△196,051	△196,788
財務活動によるキャッシュ・フロー	△396,776	△371,157
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△236,481	776,303
現金及び現金同等物の期首残高	2,203,691	1,967,209
現金及び現金同等物の期末残高	1,967,209	2,743,512

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結貸借対照表関係)

※ 受取手形、売掛金及び契約資産のうち、顧客との契約から生じた債権及び契約資産の金額は、それぞれ以下の通りであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
受取手形	21,669千円	57,150千円
売掛金	2,111,547千円	2,449,224千円
契約資産	260,783千円	255,647千円

(連結損益計算書関係)

※ 売上高のうち、顧客との契約から生じる収益及びその他の収益は、それぞれ以下の通りになります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
顧客との契約から生じる収益	9,336,126千円	10,654,507千円
その他の収益	269,067千円	270,820千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、情報サービス事業を主な事業としており、その事業内容及び製品・サービス等に基づいて事業を集約した結果、「機器等販売」、「ソフトウェア開発」、「システム販売」及び「システム運用・管理等」の4つを報告セグメントとしております。

「機器等販売」はハードウェア及びソフトウェア等の仕入・販売、「ソフトウェア開発」はアプリケーションシステムの受託開発業務及びERPビジネス、「システム販売」は自社開発システムの販売及びネットワーク構築等のインフラサービス、「システム運用・管理等」はユーザシステムの運用・管理サービス及びデータセンタ業務等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウ ェア開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,585,522	1,454,597	2,976,023	3,589,051	9,605,193	—	9,605,193
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,776	32,389	6,596	14,228	58,989	△58,989	—
計	1,591,298	1,486,986	2,982,619	3,603,279	9,664,183	△58,989	9,605,193
セグメント利益	111,302	167,539	313,283	1,164,707	1,756,833	△1,183,642	573,190
その他の項目							
減価償却費	209,782	18,504	77,984	161,934	468,206	29,712	497,919

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,183,642千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 セグメント資産は、事業セグメントに資産を配分しておらず、事業セグメントの減価償却費は一定の基準により配分しております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウ ェア開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,270,162	1,487,296	3,455,333	3,712,535	10,925,327	—	10,925,327
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,925	10,643	22,053	15,530	55,152	△55,152	—
計	2,277,087	1,497,939	3,477,386	3,728,065	10,980,479	△55,152	10,925,327
セグメント利益	193,264	335,958	529,638	1,101,592	2,160,454	△1,308,448	852,005
その他の項目							
減価償却費	202,433	17,747	82,614	160,683	463,478	32,909	496,387

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,308,448千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 セグメント資産は、事業セグメントに資産を配分しておらず、事業セグメントの減価償却費は一定の基準により配分しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
太平洋セメント株式会社	2,607,722	機器等販売、ソフトウェア開発、システム販売、システム運用・管理等
NTN株式会社	1,097,961	機器等販売、ソフトウェア開発、システム運用・管理等

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
太平洋セメント株式会社	2,580,326	機器等販売、ソフトウェア開発、システム販売、システム運用・管理等
NTN株式会社	1,191,116	機器等販売、ソフトウェア開発、システム運用・管理等



【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	3,833.81円	4,180.22円
1株当たり当期純利益金額	227.19円	392.04円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	336,156	580,068
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	336,156	580,068
普通株式の期中平均株式数(株)	1,479,630	1,479,614

(重要な後発事象)

該当事項はありません。